

●実施結果

1 大会結果

- ・個人総合時間賞 ZEITS Andrey (ASTANA QAZAQSTAN TEAM)
- ・ポイント賞 KOJIMA Naoki (TEAM BRIDGESTONE CYCLING)
- ・山岳賞 PRADES REVERTE Benjami (JCL TEAM UKYO)
- ・ヤングライダー賞 EAVES William (ARA|SKIP CAPITAL)
- ・チーム賞 EF EDUCATION-NIPPO DEVELOPMENT TEAM

2 観客動員数、経済波及効果

観客数は88,300人、経済波及効果については、2,616,190,000円と算定されました（日本政策投資銀行）。

3 SDGsの取組み

(1) 被災地への寄付

大会で販売した有料観戦エリア入場チケットの売上金と、大会期間中に実施したLINEチェックインによる寄付金 合計1,543,002円を開催県の3団体に贈呈しました。

(寄付先)

令和5年7月7日からの大雨による 災害義援金	福岡県
天ヶ瀬温泉街災害復旧	天瀬振興協議会
阿蘇草原再生募金	公益財団法人阿蘇グリーンストック

(2) 次世代を担う若者の地域理解

マイナビの探求学習プログラム“locus”を導入した「マイナビ ツール・ド・九州locus」に15校、623名が参加しました。“ツール・ド・九州を通じて考える九州の未来”をテーマに、地元企業34社・団体2団体の協力による意見交換を行い、地元企業への理解を深める取組みを行いました。

また、ブリヂストンによる小学校訪問授業、第一生命による子ども自転車教室、LINEによる高校生向け防災ワークショップが開催されました。

(3) クリーンエネルギー活用による環境負荷低減

エコギアである自転車とクリーンエネルギーの親和性をさらに重層的なものに

するため、トヨタ九州及びトヨタ販売ディーラーの協力で、水素自動車8台、EV車3台を大会競技車両として運用しました。また岩谷産業の協力のもと、水素補給オペレーションも実施し、クリーンエネルギーである水素の有用性を発信しました。

(4) DXによる事業推進

K-r o b o t と地図情報システムを開発し、コース設計の効率化を進め、競技車両の位置や交通規制情報を提供しました。会場内のキャッシュレスを推進するため、ITFORの決済端末を導入しました。